

## 全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

今年度の6年生を対象として行われた、全国学力・学習状況調査「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」について分析し、今後の課題や改善の方向についてまとめましたのでお知らせいたします。調査対象は6年生ですが、課題と改善点については全校で共有し、推進していきます。なお、個人の結果につきましてはすでに配付していますので、改めてご確認をお願いいたします。



### 〈国語〉

#### ■ 今回の調査における課題と改善の方向

	今回の調査における課題	改善の方向
言語文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中の言語活動（物語や詩歌、古典を題材にした表現活動等）を更に充実させ、言葉の響きやリズムに親しむことなどを通して、言語感覚を豊かにすることを目指します。</li> </ul>
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること</li> <li>集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する活動の充実を図ります。また、話し手の意図を確実に捉えて自分の考えと比較し、共通点や相違点を見つけた上で自分の考えをまとめる学習活動を大切にします。</li> </ul>



### 〈算数〉

#### ■ 今回の調査における課題と改善の方向

	今回の調査における課題	改善の方向
数と計算・データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えること</li> <li>目的に応じて適切なグラフを選択したり、数の増減を読み取り、その理由を言葉や数を用いて表現したりすること</li> <li>伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて表現すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単に計算の技術を習得するだけでなく、数学的な思考力や表現力を育むことを目指します。例えば、子どもの身近で具体的な事柄を通じて学習を進めたり、子ども自身が理論や系統を自然に作り出せるような支援をしたりしていくなど、答えを出すだけでなく、なぜそうなるのかという根拠を深く考える学習活動を大切にします。</li> <li>目的に応じてグラフを作り替え、複数のグラフを関連付けて考察する活動を通じて、多面的に捉えて考察する力を育成していきます。また、日頃から情報を選択しグラフに表すこと、さらに資料の傾向を読み取り、数学的な表現で説明する活動の充実を図ります。</li> </ul>



### 〈理科〉

#### ■ 今回の調査における課題と改善の方向

	今回の調査における課題	改善の方向
「エネルギー」を存する領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があるということ</li> <li>電気の回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自ら操作し、結果を観察・記録する学習を積み重ねる経験を大事にします。</li> <li>実験を行う前には、どのような結果になるのかを予想し、自分なりの理由を表現する学習活動を大切にします。また、予想と結果が異なった場合、その違いが生じた原因を考察することで、科学的な思考力を育んでいきます。</li> </ul>

# 〈学習状況に関する児童質問紙調査の回答から〉

◎肯定的な回答が多かったもの  
▲否定的な回答が多かったもの

	回答結果から	今後の手だて
基 本 的 生 活 慣 等	◎朝食を毎日食べている。 ◎毎日同じくらいの時刻に起きている。	保健の学習・保健指導等を通して、規則正しい生活習慣を続けていくことができるように支援します。
ICT	◎インターネットを使って情報を収集する。 ◎情報を整理したり、発表のためのスライドを作成したりする。 ▲自分の考えや意見を分かりやすく伝える。 ▲友達と考えを共有したり比べたりする。	ネットモラル教育の更なる充実を図り、インターネット等を正しく利用することができるよう指導していきます。 学習におけるICTの活用については、発達段階に合っているか、子どもたちにとって効果的かどうかを改めて見つめ直し、今後の取組改善に生かしていきます。
他 者 意 識 規 範 意 識 自 己 有 用 感 等	◎人が困っているときは、進んで助けている。 ◎人の役に立つ人間になりたいと思う。 ◎いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 ◎自分にはよいところがある。 ◎自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ◎普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。 ◎学校に行くのは楽しい。 ▲将来の夢や目標をもっている。	教師が子どものよさを積極的に褒めたり、周りに広めたりするなど、自己肯定感・自己有用感が高まる関わりを今後も大切にし、子どもが自分の可能性を信じ、何事にも前向きに楽しくチャレンジできるように支援していきます。 また、人間尊重の教育の推進を図り、互いを大切にしたり、相手の思いを尊重したりする態度を育むことができるよう、教育活動の工夫・改善に取り組みます。 さらに、全教職員が子ども一人一人とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を生むことができるように努めてまいります。
学 習 慣 慣 ・ 学 習 環 境 等	◎分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する。 ◎学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直して、次の学習につなげる。 ◎自然の中で遊ぶことや自然観察をすること。 ▲新聞を読む機会。 ▲土日の勉強時間。 	「自ら学ぶ力」を育むために、子ども一人一人が自分のよさや課題を捉えたり、興味・関心を広げたりすることができるような教師の関わりを大切にします。 また、家庭学習も「自分で考えて取り組む学び」となるよう、 今後支援を続けていきます。 
興 味 ・ 関 心 等	◎国語の勉強は好き。 ◎算数の勉強は好き。 ◎理科の勉強は好き。 ◎読書は好き。 	今後も子ども一人一人が「分かる・できる・楽しい」授業となるよう丁寧な学習指導や、教室の仲間との協働的な学びを大切に、意欲的に学習に取り組むことができるように支援してまいります。

私たち教職員は、駒岡小の子どもたちのよいところをこれからも大切にし、一人一人の課題解決に向けた改善の手だてを子どもと一緒に考えながら、成長の一助となるよう指導・支援に努めてまいります。学校の主役である子どもたちが、その子らしさを大いに発揮できるよう教職員一同力を合わせて教育活動の改善に取り組んでまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。